



認知症サポーター養成講座を 開催しませんか？



我が国における認知症の人の数は、平成24年で約462万人、65歳以上高齢者の約7人に1人と推計されています。今後、高齢化の進展に伴いさらに増加すると見込まれており、平成37年には約5人に1人に上昇する見込みとなっています。認知症の人の意志が尊重され、できる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる地域の実現を目指し、地域包括支援センターが中心となって、認知症施策を推進しています。

認知症サポーターとは？

◆「認知症サポーター」とは、養成講座を受けた人が「認知症サポーター」です。特別なことをする人ではなく、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かい目で見守る「応援者」のことです。具体的な援助はできなくても、理解者であることを示すことで本人や家族の気持ちはぐっと楽になります。

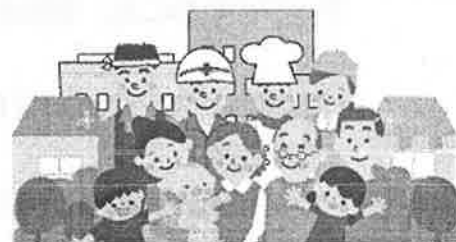
認知症サポーターには認知症を支援する「目印」として、ブレスレット(オレンジリング)を配布(無料)します。この「オレンジリング」が連携の「印」になるようなまちを目指します。



認知症サポーター数 鳥取県73,076人 北栄町2,428人 平成28年9月末現在

講座内容

◆認知症に関する基礎知識の習得、認知症の人に接するときの心構え、家族への支援のあり方、認知症予防など、1時間～1時間30分程度の内容となります。



申込方法

- ◆地域包括支援センターへお申込みください。
- ◆会場や日時の設定は、集まりやすい場所、時間などを考慮していただき自治会で決定していただきます。
- ◆おおむね10名以上からの参加で受け付けております。

自治会単位の専門医による認知症講演会もご希望に応じて開催しております。

多くの方が受講し、認知症サポーターがたくさんいる地域にしましょう！